

TGM

軽量化&優れた断熱性

樹脂スパーサーに新機種

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・アルプ

口社のウオームエッジスパーサー「Thermix(サーミックス)」シリーズを販売している。「サーミックスTX-Pro」「サーミックスTX-Pro with black flank」の2種で、樹脂とステンレス鋼を使用したハイブリッドタイプ。「サーミックスTX-Pro」は独自の加工製法で軽量化に成功し、枠への負荷を軽減しながら優れた断熱性を実現する。「サーミックスTX-Pro with black flank」は黒い側面がこれまでにないガラスの外観美を実現する。アルプ社は断熱効果、品質、安全性に照準を合わせて商品を開発しており、世界各地の断熱ガラス製造業者から高い評価を得ている。

「サーミックス」シリーズはイタリア製で高品質。EN(欧州規格)1279に準拠した要求(耐紫外線性、吸湿率、ガス喪失率など)に対応している。高い安定性でフレームを容易に扱え、曲げたコーナー部にもブチルシールをしつかりと

「サーミックス」シリーズは一般的なシール材でステンレス鋼への付着を実証済みで、板ガラス施工に適する。樹脂(ポリプロピレン)をステンレス鋼でカバーして強度を補強し、樹脂部分にワイヤを挿入することで、スパーサーの安定性を高めた。

「サーミックスTX-Pro」は軽量化設計によって、製造現場での作業性が向上。断熱性が高い樹脂、特定部分を補強した非常に薄いつまみ構造のハイブリッド構造によって、優れたUw値(窓の熱貫流率)を実現。窓枠からの熱損失を軽減することで、空調コストを削減し、結露によるカビの発生リスクを最小限に抑え、快適で健康的な室内環境に大きく貢献する。

黒色が美しい外観表現。ガラスファサードは透明性や明るい環境、印象的な建物に影響を与えるが、施工が適切であっても、ガラスのエッジ部分に視覚的な悪影響を及ぼす可能性がある。アルプ社はこれを防ぐため、「サーミックスTX-Pro with black flank」を提議することで、これまでないガラスの外観美を実現し、施主を満足させることができる。

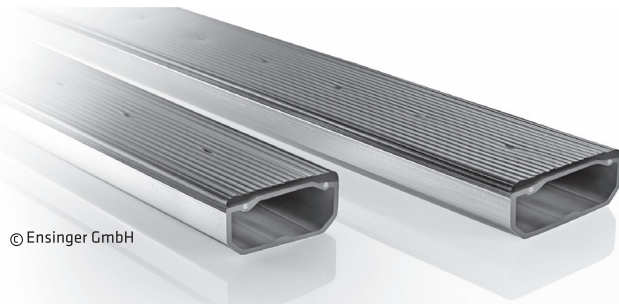
最近のガラスファサードはサッシ枠なしで製造されるものが多く、ガラスのエッジ部分が露出している。「サーミックスTX-Pro with black flank」は側面が黒いバリエーションとして利用できる。他に、ステンレス鋼の側面や不均一なブチルシールを見えないようにしたり、長期間にわたって色あせなど紫外線耐性を

に効果を発揮したり、全ての設置サイズでオプションとして利用可能といった魅力がある。

「ガラスアライアンス」グループは、複層ガラス用の材料について幅広い顧客ニーズに応えるため、それぞれの分野で世界トップクラスの実績、品質と信頼性を持つ老舗企業3社(イタリア・フェンジー社、イタリア・アルプロ社、デンマーク・ロールテック社)が協業体制を構築。複層ガラス用シリンダ材、ガラス用塗料、複層ガラス用各種ウオームエッジスパーサーなどを製造している。2016年には建築・自動車ガラス用インクジェット印刷機を開発・製造するスペイン・テックグラス社が新しく加入した。フェンジー社が保有する装飾用インクの技術を生かして顧客の支持を拡大している。

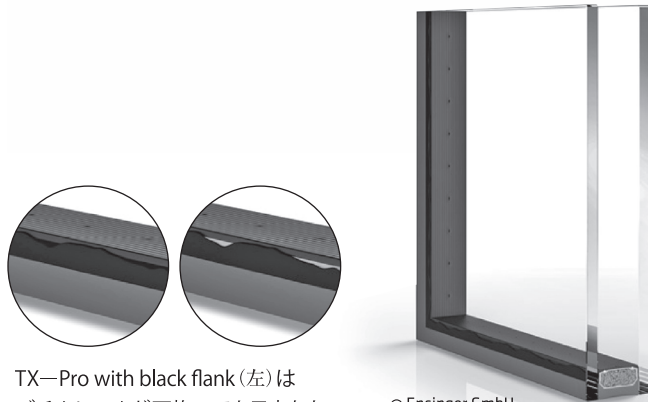
アルプロ社(1992年創業)は「顧客の全てのニーズに答える」をモットーに、複層ガラス用スパーサーについてはアルミ、樹脂など幅広いタイプのスパーサーを自社で開発・製造している。

TX-Pro



© Ensinger GmbH

TX-Pro with black flank



© Ensinger GmbH

TX-Pro with black flank(左)はブチルシールが不均一でも目立たない

高機能ウオームエッジスパーサー「サーミックス」シリーズ

「サーミックス」シリーズは一般的なシール材でステンレス鋼への付着を実証済みで、板ガラス施工に適する。樹脂(ポリプロピレン)をステンレス鋼でカバーして強度を補強し、樹脂部分にワイヤを挿入することで、スパーサーの安定性を高めた。